



洋画
伊藤夏実「動的な均衡」
H2040×W1400×D150mm
撮影：末正真礼生



版画
村上英里「花舞う少女」
銅版画、手彩色／H770×W1000mm



工芸
本木理紗「First&Last」
ガラス、銅板、銅管、ネジ／
H000×W000×D000mm (2点)



日本画
樋口綾香「ピアノレッスン2」
紙本着彩／H1940×W4400mm



立体芸術
張芸璋「陰を編む」
紙バンド／H2250×W500×D4200mm



メディア

徐彦琦「鉄と蟬」

漫画、紙／H3000×W1500×D5000mm(約250ページ)



ヒーリング

鈴木亜優「BRAN CREATURES ～大人にだけ見える精霊～」

綿、ボア、フェイクファー、コーデュロイ、手芸綿、手縫い糸、刺繍糸／
H3000×W3200×D2500mm



ファッションテキスタイル

野々上 澄「余裕は形態を変え衣服の中に溶け込み、私達にゆとりをもたらす。」

ポリエステル、キルト芯、糸／H1200×W1200×D1600mm(3点)



アートプロデュース

袁媛「何者」

ミクストメディア／サイズ可変

ジェンダーとアイデンティティへの考察を、女性性を象徴するモチーフとして自らの「毛髪」を用い、パフォーマンスとその記録、物質的作品に昇華させたシリーズ作品を制作。2018年1月1日、美容院で長い黒髪を刈り、その様子を撮影したドキュメント映像を撮影。その日から1年365日間、欠かさず撮影を続けたポートレートを12枚の月間カレンダーとして提示。また、毛髪をレジンで封じ込めた簪。1000本もの試験管に1本1本保管された毛髪が暗闇の中で発光するインスタレーションを制作し、自分とは「何者なのか?」を問いかけた。



ビジュアルデザイン
卓越「気持ちのリズム」
アクリル、色鉛筆、ケント紙／H2100mm×W7800mm (20点)



環境デザイン
鐘 婷婷「共感しあって暮らし続ける集合住宅」
スチレンボード／W850×D550mm



プロダクトデザイン
王 萌萌「Rinko(燐光)」
フェルト、樹脂ビーズ、他／
H1600mm×W500mm×D500mm
撮影：遠藤正太

こちらの修士論文については、本学HPに掲載しています。

美術史研究領域

杉田花奈「ジャン・フォートリエのリンゴの絵について」

論文

芸術表象研究領域

湯浅千紘「だれでも入ってきていいわけではない—友達の部屋「親密さ」と「疎外」の現在」

論文

美術教育研究領域

滝田優里「絵画の鑑賞が十分に及ぼす効果」

論文